



森ボラ 通信

第85号 2009年6月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会
URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 : Fax:241-8308
E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 支笏湖「コンサ百年の森」2009年植樹祭支援(5月31日)



植栽地に建てられた看板。題字は森ボラ会員山中さんの執筆、制作。



◆ 活動報告 5月8日・支笏湖「コンサ百年の森」(参加者11名)

森林管理署の方にゲートを開けていただきコンサの4名と今年の植栽地4.35haの根踏みをしました。霜による浮き上がりはなかったがトドマツは植栽不良と雪起こし作業が多かった。また広葉樹は雪折れが多く管理がむずかしい。

入り口0.9haの植栽地は地拵え後の豪雨で雨裂が発生したものを溝に枝条を入れ鍬で土を寄せて補修した。トドマツ40本追加植栽した。昨年の少雨で心配した記念樹も元気でした。その横にJA贈呈式に使った苗木3本を植えました。

帰りに千歳への国道脇の森ボラ協会が独自に一昨年植栽した復興の森造林地(5218林班)の点検、良く活着していた。王子の発電所のエゾヤマサクラは今が真っ盛りでした。(記、酒井)



◆ 40年昔の思い出を辿る ～木曾谷・伊那谷のたび～

今回の研修旅行、木や森のことに疎い私にとっての最大の関心事は、およそ40年まえに大阪から夜行列車を使い、登ったアルプスの山々と再会することであった。出発の一週間位前から、伊那地方の天気予報を注目していたが、前日になっても好転せず曇り基調だ。結果として前半は雨、曇り模様だったが、後半は快晴とまざまズの天気であった。

二泊目の宿、木曾駒ヶ岳の麓、木曾谷側にある温泉宿「駒の湯」、その昔木曾駒ヶ岳から空木岳を縦走した時の登山口、今は伊那側にロープウェイがあり、あまり利用されていないようだ。前日の雨が一転し晴れ、台形の形状をした信仰の山で有名な御嶽山が悠然と構えている。活火山で今も噴煙をあげているらしいが、噴火前を想像するに稜線を伸ばして、山の大きさがどのようなものだったのか、楽しくなってくる。中央アルプスを貫く権兵衛トンネルを通り、伊那谷へ向かった。因みに、この権兵衛はご存じの方も多いと思うが「権兵衛が種まきや、カラスがほじくる」の唄で有名なその人だ。

伊那谷は中央アルプスと南アルプスの3,000mクラスの花々に挟まれたところにある。西に中央アルプス、北から木曾駒、すぐ横に小さな三角形の宝剣岳、そして空木岳、南駒ヶ岳と連なっている。東に南アルプスが望まれる、正月休みに、伊那から入り、北沢峠にある山小屋に泊まり、登った甲斐駒ヶ岳、ピラミッドのようにみえる。そしてスケールが大きくどっしりとしている仙丈ヶ岳。甲斐側から登った北岳、富士山に次ぐ第二の高峰だ。仙丈ヶ岳から観た北岳はマッターホルンのように 屹と天をつくような姿が頭にあったので、確認に手間取ったが緩やかな稜線で観て取れた。その右に間ノ岳(アイダケ)、農鳥岳とつづく。

後述の信州大学演習林の林道、標高1200から1300mのポイントから北アルプス、穂高岳、常念岳が確認、穂高と隣りあわせで、どこからでも見間違ふことのない、槍の穂先の槍ヶ岳は雲がかかり、観ることがかなわなかった。

信州大学が所有する演習林、4ヶ所のうち伊那市東部、南アルプスの北側に位置する手良沢地区林道を利用し、小林先生(信大)に案内していただいた。演習林は229ha、循環型森林管理を目的とした植林・育林・木材生産等の教育研究の場として活用。柴田さんの自宅からわずか10分ほどの場所にあり、ほとんどがひのき、カラマツの人工林、30度を越す傾斜地でわれわれの活動地だった藻岩山を思わせる。ここもシカの食害に悩まされており、対策にネット防護柵、忌避用の薬剤散布、プロテクター装着がなされていた。なかでも、1メートル以上もあるかと思われるプラスチック製のプロテクター、数百本も立ち並んでいると異様な光景、シカからきらわれる以上に学生からの評判すこぶる悪いとの事、また再使用が出来ない為、産業廃棄物問題で悩んでいるようだ。

最終日、中央道で羽田へ向かう途中、諏訪SAを過ぎたあたりか、広い裾野を拵げた八ヶ岳である。頭に多くの峰を抱え、ひとつの山塊を構成している。ある年の晩秋、その北側にある蓼科山とともに登った。最後は日本一の山、富士山、残念ながら春霞と雲に邪魔され、左側の稜線と山頂がかすかに確認できた。唯、富士山はこれからいくらかでも機会はと思いながら、一路羽田へ。

私にとってのこの四日間、桜の時期は逸したというものの、残雪の山はコントラストがはっきりとし、暑からず寒からずの丁度良い時期だった。また山々の光景に40年前の記憶は全くといいほどなかったが宿の名、町の名、登った山の名前の記憶を思い出し、なつかしさに浸ることができた。もう二度とこれらの山々と会うことはないだろうと思いながら。

因みに、文中の山のうち登っていない山は常念岳と南駒ヶ岳で、多くは深田久弥の日本百名山に名を連ねています。(記、釣井)

◆ ドラ息子の運転で冷や汗

4月25日の作業日は、雪は完全に消えて今シーズン初めて澄川の現場に車を乗り入れることができた。加えてKYTのあと、ラジオ体操を試みるなど快調な滑り出しであった。

主な作業は、冬期間に切り出した薪材をキャリコの入れる場所まで(100m位) 運搬することだった。細いものは人力で担ぎ上げ、手に負えないものは運搬車を使った。これを午後になって初めて操ってみた。左右のブレーキの利き具合が極端に違ううえ、全てが手操作のため慣れるまで右往左往させられた。さらに屈んでの運転と、物を積んでの登り坂では力一杯持ち上げねばならず、腰へのダメージは相当なものであった。それでも2~3回往復するころには、かなり余裕ができて往年、雪上車やスノーモービルで走り回った頃を思い出したりした。そのうちに気の緩みの隙間を突いてトラブルが発生した。木材置き場でUターンしようとして谷側のブレーキレバーを引いたところ、そのまま谷沢に落下していった。かろうじてバックギアに強制投入して、湿地まで転落することなく引き上げることができたが、一瞬のできごとであった。後になって冷静にふり返ってみると、運搬車が沢に向かったので、あわててレバーをニュートラルにしようとしたが、誤って隣のウインチ用レバーを引っ張っていたようだった。

このヒヤリハットを、反省を込めてKYT式に唱和すると次のようになるうか。

- 一つ 機械器具類は熟知してから操作しよう
- 一つ 慣れたところに危険は潜むことを認識しよう
- 一つ 何事にもあわてず落ち着いて行動しよう

それにしても、親の言うことを聞かないドラ息子のように、取り扱いには気疲れする運搬車であった。あの日から2~3日はわが家のあんま機のお世話になるハメとなった。(記、吉本)

■ 今月の幹事会



2009年度北海道応援基金の支援を受けています。

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・山中・和田・(オブザーバー：矢澤)

●例会を開催します。

と き：平成21年7月1日(水)13:30~

と ころ：札幌市リネージュプラザ(2F 第3研修室)

議題：(1)「北海道 CGC みどりところの基金」平成21年度事業対応。

(2)北海道新聞社「道新ぶんぶんの森」平成21年度事業・植樹祭(7月4日(土))対応。

(3)刈払機安全衛生教育講習・チェーンソー特別教育講習の案内。他

●2009年度会費改訂について

2008年度総会において、ボラ通のプリント及び送付等には年間会員一通当り1,000円以上の通信費等が掛かっており、協会の負担が大きくなっているという事で会費改訂につきましては皆さんの賛同を頂きました。但し、その際幹事会に一任された会費表記につきましては検討した結果、下記の様にさせていただきます。ネットで「ボラ通信・活動参加用紙」の受信を希望される会員は通信料の還元等をする事としました。定款の確定表記としては、下記の様にします。

第7条 (会費)

会員は、会費を納入しなければならない。ただし、理事会が認めたものについては、この限りでない。

2. 会費の種類、金額、納入方法等は、総会の議決を経て定める。
3. 第7回総会において定めた会費の種類および金額は以下のとおりである。

(ア) 正会員(個人・学生) 入会金1,000円 年会費3,000円

但し、家族2名での会員は一方を半額とする。

(イ) 賛助会員 団体・企業 年会費10,000円/口

個人 年会費5,000円/口

なお実行ベースでは、ネットでボラ通を見るので郵送しなくても良いとご協力していただいた方には経費削減の一部を還元いたします。パソコンをお持ちの方は是非ご協力のほどよろしく願いいたします。

また、払込取扱票にはスペースの関係で以下の通り記載しております。欄の該当する項目に記入の上お送り下さい。

会員区分	会費	ネット配信希望
<input type="checkbox"/> 個人	3,000円	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 家族(2名)	4,500円	<input type="checkbox"/>

※ネット配信でボラ通を見るので郵送は必要としない方は✓を付けてください。
※ネット配信にご協力いただいた方には、後日、個人1,000円、家族1,500円を還元いたします。

■ 活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
6月17日(水)	澄川	16名	除伐
6月13日(土)	野幌森林公園	10名	草刈
6月11日(木)	札幌工科専門学校	2名	技術指導
6月 8日(月)	幹事会	11名	定例
6月 6日(土)	澄川	15名	除伐・苗立
	当別青山	1名	オイスカ支援
6月 5日(金)	アイケンの森	16名	除伐
6月 3日(水)	臨時幹事会	7名	CGC 新規事業対応
6月 2日(火)	南幌町	6名	ヤナギ圃草刈
5月31日(日)	支笏湖	10名	コンサの森植樹祭
5月28日(木)	支笏湖	16名	コンサ植樹祭準備
5月26日(火)	澄川	12名	木工
5月25日(月)	臨時幹事会	11名	
5月23日(土)	りんご園	12名	花見ジンギスカン
5月20日(水)	アイケンの森・澄川	16名	玉切り搬出・澄川看板製作

■ ひとこま

◆ 活動報告 4月25日・27日澄川 参加者(計、27名)



前回4月2日の澄川での活動日までは豊平清掃事務所に駐車場を借りて活動していましたが、この3週間であれ程多かった雪も融けて駐車場も乾き使えるようになりました。25日は、まずテント小屋周囲の整理をしてから冬の間第一木道の所まで人力で運び出しておいた玉切り材が崩れ、道を塞いでいましたのでこれらの材をトラックで運び出せる場所まで人力と運搬機で搬出しました。

また、ホダ木の材をホダ場まで運搬しました。ところが翌日26日の日曜日、北海道は道東を中心に大雪となりました(中札内では60cm以上の積雪)。札幌も朝から時々激しく降りましたが都心部では道路に積もる所までは到りませんでした。27日、澄川に近くなるに従い積雪が多くなり澄川の森には3~4cmの積雪がありました。第一木道の所で咲いていたミズバショウも突然の雪に震えているようでした。この日も冬の間伐採した材を運搬し、整理しました。また、この2年間に作ったホダ木の天地返しをし、ポンプによる水掛けもしてキノコの豊作を願いました。今年も数本立ちのミズナラの整理伐、倒れたり入ったシラカンバの除伐などで結構多くの材を切りました。ホダ木作りと炭作りを行える材が揃いました。(記、荻田)